

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	埼玉県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	伊奈町立南小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	2	3	3	3	3	0	17	23
児童数	95	69	112	89	90	83	0	538	

研究の概要

1. 研究主題

わくわく生き生き自ら学び考える南っ子の育成
 - 算数科における「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 -

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

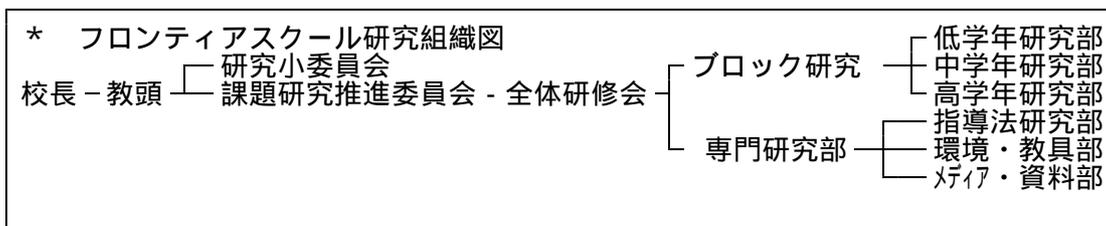
・全学年・算数
 児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。
 実態調査の結果・児童に身につけさせたい資質・能力から、全学年、教科を算数科として、研究に取り組む。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	テーマ わくわく生き生き自ら学び考える南っ子の育成 算数科における「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 研究の見通し 仮説を「子どもたち一人一人の実態に即したきめ細かな指導を行えば、基礎・基本の確実な定着が図れ、確かな学力を身に付けさせることができる。」として、検証する。 研究の内容・方法 指導方法・指導体制の工夫改善をとおして授業実践を全学年で進めた。
--------	--

平成16年度	テーマ わくわく生き生き自ら学び考える南っ子の育成 算数科における「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」 研究の見通し 仮説を「子どもたち一人一人の実態に即したきめ細かな指導を行えば、基礎・基本の確実な定着が図れ、確かな学力を身に付けさせることができる。」として、さらに研究を深める。 研究の内容・方法 指導方法・指導体制の工夫改善をとおして授業実践を全学年で進めていく。
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

自校の研究のねらい... 一人一人の実態に即したきめ細かな指導を行い、基礎・基本の確実な定着を図り、学力を身に付けさせる
研究内容... 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
研究成果... 少人数指導では、個別指導の機会・時間が増えた。自力解決の手助けを行えた。算数好きの児童が増えた。興味 関心 意欲が高まった。

2. 今後の課題

研究の今後の課題... 個に応じた指導のための教室の確保や人員の確保。 評価方法や評価規準の明確化 指導と評価の一体化 自己評価力の育成 発展的学習のための教材開発 家庭学習の在り方の検討 等

学力等把握のための学校としての取組

調査の目的..... 児童の学習状況・意識の変容を捉えるために
実施内容..... 学力調査（教研式学力テスト）算数科意識調査
時期..... 1学期

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成16年1月28日（水）埼玉県桶川市市民ホールにおいて、埼玉県南部地区学力向上推進協議会で本校の今年度の取組状況を報告し、研究成果の普及に努めた。対象者は管理職及び研究推進担当者等管内から、約500名の参加者に報告した。



- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無